

授業科目 社会福祉文化論Ⅱ

【担当教員名】 古林淑子	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30時間

<概要>

福祉文化の意味を明らかにし、とくに日本の文化のなかでの福祉文化を探究するとともに、その実践課題と事例について述べる。

<学習目標>

- ・社会福祉のQOLを高めための福祉文化の意味を習得する。
- ・現場実践に具体的な展開の課題について考える。
- ・地域における福祉を高めるための福祉文化の在り方について探究する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	後期における講義について		講義
2	日本文化史における福祉文化（1）		ビデオと講義
3	日本文化史における福祉文化（2）		ビデオと講義
4	日本文化史における福祉文化（3）		ビデオと講義
5	日本文化史における福祉文化（4）		ビデオと講義
6	日本文化史における福祉文化（5）		講義とビデオ
7	福祉文化の展開方法（1）		講義
8	福祉文化の展開方法（2）		講義とビデオ
9	福祉文化の展開方法（3）		講義とビデオ
10	福祉文化の展開方法（4）		講義とビデオ
11	現場における福祉文化実践（1）		講義
12	現場における福祉文化実践（2）		講義とビデオ
13	これからの福祉文化をめぐって		講義
14	後期学習への討論と総括		全員で討論

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	福祉文化	一番ヶ瀬康子/古林詩瑞香	建帛社	2003年・5月予定
参考書	授業中に適宜紹介する			
その他の資料	必要の都度配布する			
【評価方法】 レポート提出		【履修上の留意点】 聞くだけといった受け身の態度ではなく、一緒に授業をつくっていくことを大切にしたい		